

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、札幌市教育委員会より全市の調査結果の概要が9月に発表されました。これを受けて、本校における「全国学力・学習状況調査」の結果を分析した概要と、今後の指導方針についてお知らせします。

この調査結果は6年生の結果ではありますが、他学年にも共通する部分がありますので、学校全体で今後の指導改善に生かしていきます。なお、文部科学省からも連絡がありました。今回の調査結果は児童の学力の一部であることを踏まえてご覧ください。

【国 語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」
全国平均とほぼ同程度であるが、
やや上回る。

「書くこと」
全国平均を上回る。

「読むこと」
全国平均を上回る。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
全国平均を上回る。

主として「活用」に関する問題(B)

「話すこと・聞くこと」
全国平均を上回る。

「書くこと」
全国平均を上回る。

「読むこと」
全国平均とほぼ同程度であるが、
やや下回る。

「話すこと・聞くこと」では
質問の意図をとらえ、聞き手に伝わるように話す。

「書くこと」では
目的や意図に応じて、文章全体の構成を考え、読者に伝わるように書く。

「読むこと」では
文章を読み、具体的な叙述をもとに内容を的確にとらえ、筆者の意図をつかむ。
正解率が低い。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
漢字を正しく書く。
正解率が低く、無回答率も高い。

「話すこと・聞くこと」では
質問の内容を的確にとらえ、目的や意図に応じて話したり聞いたりすることができるように指導の充実を図ります。

「書くこと」では
目的や意図に応じて、自分の考えをもつ。
書く事柄を整理する。
構成を考えながら的確に書く。
の3点に重点を置いて指導の充実を図ります。

「読むこと」では
目的に応じた自分の考えのもち方や文章の内容の押さえ方など、意識して学習していくよう指導の充実を図ります。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
国語辞典や漢字辞典を今以上に有効に活用できるようにします。
漢字の反復練習の指導を更に充実させます。

【算 数】

本校の概要

主として「知識」に関する問題（A）

「数と計算」

全国平均を上回る。

「量と測定」

全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

「図形」

全国平均を上回る。

「数量関係」

全国平均を上回る。

主として「活用」に関する問題（B）

「数と計算」

全国平均を上回る。

「量と測定」

全国平均を上回る。

「図形」

全国平均を上回る。

「数量関係」

全国平均を上回る。

今回の調査における課題

「数と計算」では
小数や分数の計算
問題の意味を理解し、正しい式を立て計算する。

「量と測定」では
量を求めるために必要な情報を判断し、立式する。

「図形」では
180度を超える角の大きさを理解し、角度を求める。

「数量関係」では
問題の意味を理解し、必要な情報を基に、式などを使って求め方を説明する。

改善の方向

「数と計算」では
四則計算、特に、小数や分数の計算について反復練習を行い、家庭学習との関連をもたせながら指導の充実を図ります。
除法と分数との関係や、除法はいろいろな答えの表し方ができることについて、指導の充実を図ります。

「量と測定」では
単に答えを出すだけでなく、測定の結果に見当をつけたり、論理的に考えたりする指導を更に充実させます。

「図形」では
図形を構成する要素に着目し、図形と式とを関連させて論理的に思考できるように指導の充実を図ります。
分度器や定規を使って、図形を測ったりかいたりする活動を充実させます。

「数量関係」では
問題の意図に即して知識を活用し、筋道を立てて考える指導を充実させます。

【理 科】

本校の概要

主として「知識」に関する問題（A）

「物質」

ろ過の適切な方法について
全国平均を上回る。

「生命」

体を動かすための骨と筋肉の仕組みにつ
いて
全国平均を上回る。

「地球」

土や石を積もらせる水の働きについて
全国平均を上回る。

主として「活用」に関する問題（B）

「物質」

水溶液の重さについて
全国平均を上回る。

「エネルギー」

電流の流れ方とモーターの回転の係に
ついて
全国平均を下回る

電流の流れ方について、見通しをもって
実験し考察する
全国平均を上回る。

「生命」

生物の成長を観察する適切な方法につ
いて
全国平均とほぼ同じであるがやや下
回る

「地球」

水の流れによる土地の浸食について
全国平均を上回る。

今回の調査における課題

「物質」「エネルギー」では

実験や観察の結果とその
理由を結び付けて考える。

観察する際に気を付ける
ことや、実験でそろえる
条件について考える。

実験の結果を踏まえ、条
件を変えるとどのような
結果が生まれるか予想す
る。

異なる実験方法から、よ
り良い考えを導く。

「生命」「地球」では

身近な自然や身の回りの
出来事に関心をもち、疑
問をもちながら進んで学
習する。

安全に留意し、生命や自
然を愛護しながら観察す
る方法を考える。

自然事象を表す言葉を適
切に用いて、観察や実験
の結果を分かりやすくま
とめる。

改善の方向

「物質」「エネルギー」では

観察や実験をするために
必要な条件を考え、結果
から分かることをまとめ
る学習の充実を図ります。

条件によって異なる実験の
結果が生まれたときに、
そのわけを考えたり説明
したりする学習の充実を
図ります。

「生命」「地球」では

身近な自然の観察や実験
に関心をもち、進んで調
べてみようとするような
学習構成の工夫を図りま
す。

観察や実験から分かるこ
とを基に、条件が変わる
とどのような結果になる
か予想を立てる学習の充
実を図ります。

自然現象を正しくとらえ
るために、言葉を適切に
用いてまとめたり説明し
たりする学習の充実を図
ります。

【生活習慣・学習環境に関する調査】

本校の全体的な傾向は、全国・全道とおおよそ同じような結果になっております。ここでは、全国と比較して特徴的だと思われる項目について、その状況をお知らせいたします。

全国と比較して肯定的な回答が多かった質問項目

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

約78%の子が計画的に学習し、全国平均を10%上回っている。

「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」

約79%の子どもが、「している。」と答えており、全国平均を15%上回り、1時間以上の子が75%いた。また、「まったくしない。」と答えた子が、全国平均の半分だった。

「算数の勉強は好きですか」「理科の授業の内容はよく分かりますか」「5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたが」

どれも全国平均を8%~18%上回り、算数では「わからない時も、いろいろな方法で考えてみようとしている。」と答えている子も、全国平均を上回っていた。

「5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」

84%の子が「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答え、地域とのつながりを実感している子が多かった。

全国と比較して否定的な回答が多かった質問項目

①「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

「当てはまる」と答えた子が、全国平均を10%以上下回った。

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

「当てはまる」と答えた子が、全国平均を10%以上下回った。

「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」

「当てはまる」と答えた子が、全国平均を8%下回り、「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」の質問についても、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた子が、全国平均を13%下回った。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」子が、全国平均を10%前後下回り、「あまり当てはまらない」「わからない」と答えた子も65%ほどでした。学校だよりやHPなどでできる限り地域の情報もお伝えするように心がけていますが、なかなか子ども達にまで行き渡っていないようです。今後も情報の提供に努めていきたいと思っております。ご家庭でも、地域の催し物などに進んで参加するようお誘いいただければと思います。

学習の大切さを感じ、まじめに取り組んでいる子が多いことが分かりますが、今学んでいることが将来に役立つと感じていない子が多いようです。また、地域とのつながりの大切さは感じていても、具体的な行動と結び付いていない子も多いようです。

「筋道を立てて考えることの大切さ」を引き続き伝えていきます。また、聞き合ったり話し合ったりしながら回りの友達や地域の方やいろいろな人とのつながりを実感できる活動を充実していくようにします。